

Conquest



ADULT ONLY



カレンは必ず助け出すっ！
それでいいだろう……！



失態だな ルルーシェ
カレンを捕虜にされるとは……

ほおあッ！

おあッ！

それが許しを乞う者の
態度か？





これがそんなに
気持ちいいのか?

ウツ
ビクッ

ズルッ
ズルッ



ん?
なんだ...



固くなってきているじゃないか

ググッ
ググッ



女が敵の捕虜になるといふことは
よってたかって
鬻り者にされるといふことだぞ

カレンが今どれだけ深刻な状況下に
置かれているか分かってないようだな

アッ
アッ
ビクッ

ギクッ
ギクッ



穴という穴を敵兵の
性欲を満たす道具に
されるのだ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

パンツ

それともあのオデュッセウスとかいう男の
情婦として慰み者にされるかもな

君たちのおかげで
女と結婚しそびれたから
責任取ってもらおうよ?

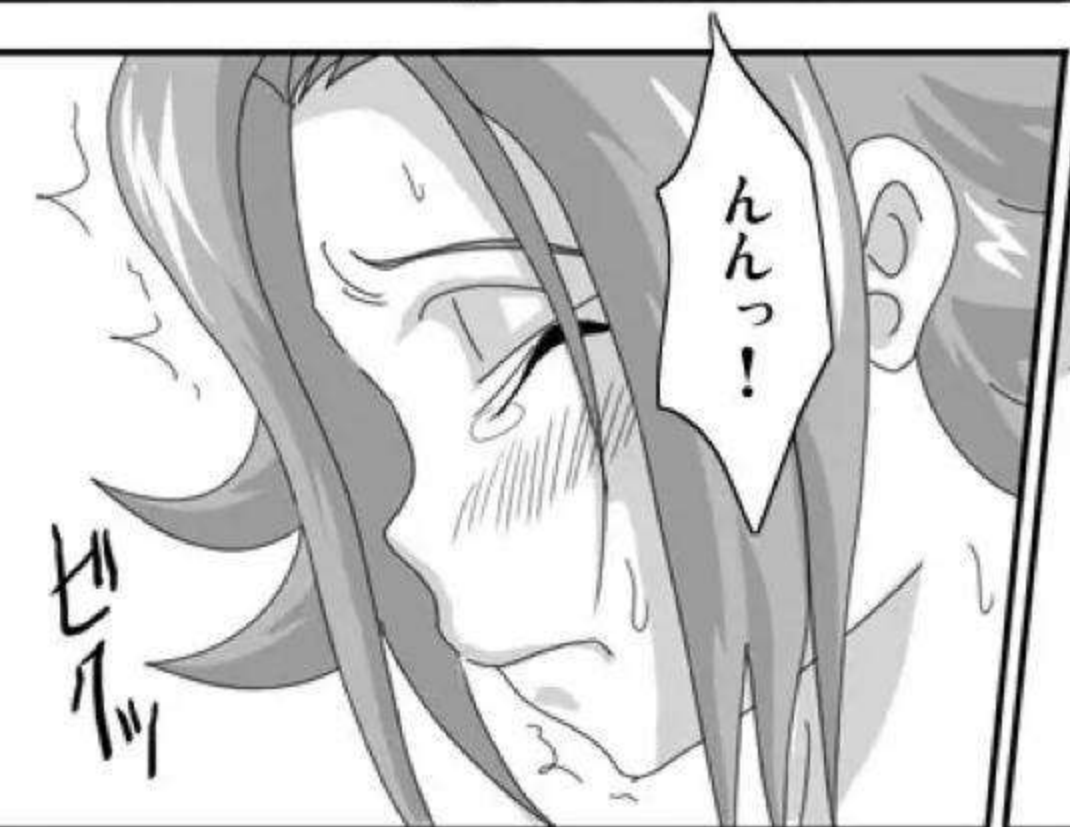
カレンがあんな凡庸な男にっ?
ありえんっ!

ああいう男の方が時間をかけて
女を落としそうじゃないか



自分の大事な部下が
憎いブリタニア皇帝の息子のものに
なるのは屈辱だろう?





黒の騎士団のエースといっても
裸に剥かれてしまえば
ただの女だ

あっ!

心では拒んでも
体は十分に男を受け入れられる



んっ!

尻を高く突き出す
姿勢をとらされ
露になった女の部分を
執拗に弄ばれ...

んっ!

んっ!

膣内に侵入した指の動き
ひとつひとつに声を押し殺しながらも
敏感に反応し始める

君のここ、すごく濡れてるよ
ほら 聞こえるだろ？

自分の恥部を掻きまわす音で
羞恥心を煽られた
カレンの肉体はさらに
敏感なものになり
容易に絶頂へと昇りつめていく

あっ

…はっあっ

ふあっ

いやっ



あっあっあっ！



あっ！



あっ！
あっあっ！

いやっ…あっ
イク…っ！
イっちゃうっ！



指じゃ
イカせないよ？

ふ…っ
く…っ



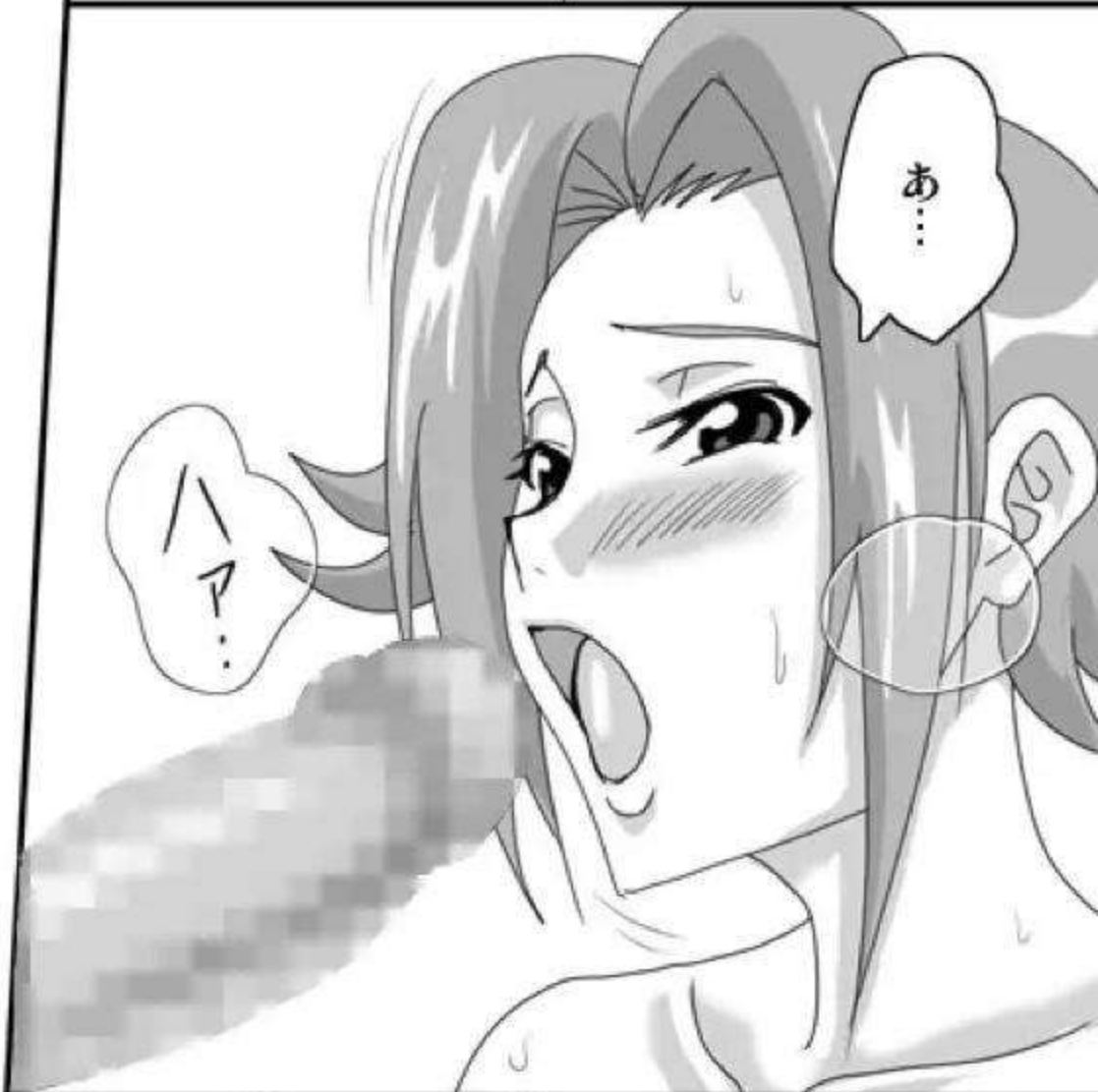
立て続けに押し寄せてくる快感に
耐え切れず腰を浮かせて
歓喜の悲鳴を上げる...





ほら…
口を開けて

…



ハア…

あ…



ん…っ

キョロッ…

我慢の限界に達したカレンは
お前とのキスを拒んだその口で
オデュッセウスのモノに
奉仕するだろうな

何故それを知っている!?

ん…っ

ふ…っ

んっんっ

キョロッ

キョロッ

キョロッ

キョロッ

キョロッ

私を甘く見るな
それぐらいの察しはつく



一度相手の言われるがままに
なってしまうば
もう後戻りは出来ない：
ヒクつく肛門を覗かれながら
イカせてもらうために夢中で
チンポをしゃぶるただの小娘に
成り下がるだけだ...



フフ...
想像して興奮したか？
雫が溢れてきたぞ？

うっ...
んっ...!

ハア...ッあっ!

うっ!

あっ!

あっ!

くっ!





待ち焦がれていたモノを一気に挿入されたカレンは敵であるはずのオデュッセウスの腕の下で快感にのた打ち回る

大きく傘を張った龟头が女の穴を押し広げ
 膣奥へと掻き進んで
 カレンを絶頂へ追い込んでいく



あっ!
 ああああああっ!

や...っあっ!
 大き...っ!
 い...っあっ!

はあ...っ!
 ん...あっ!

あっあっ!
 あっ!

クキョッ

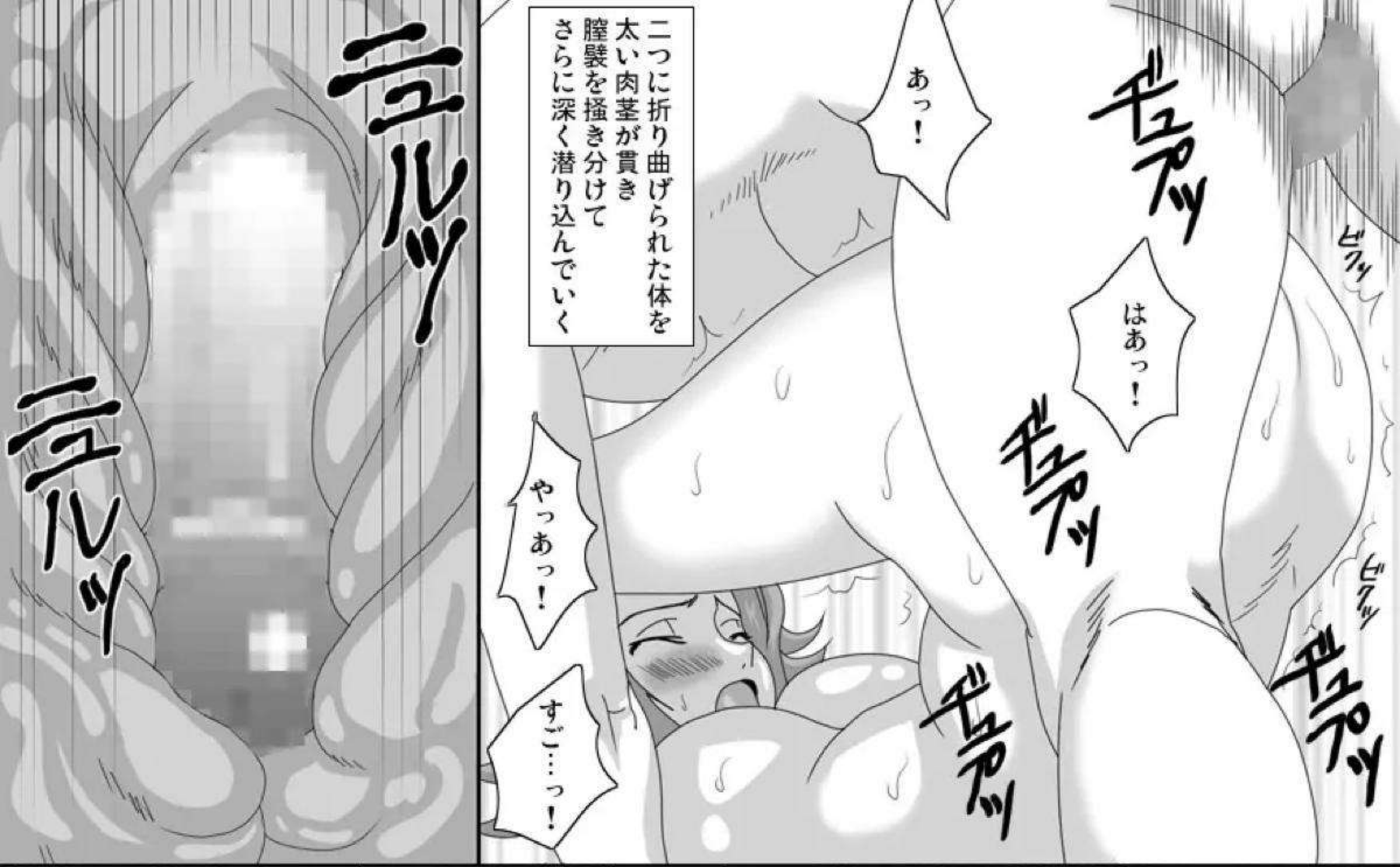
クキョッ

クキョッ

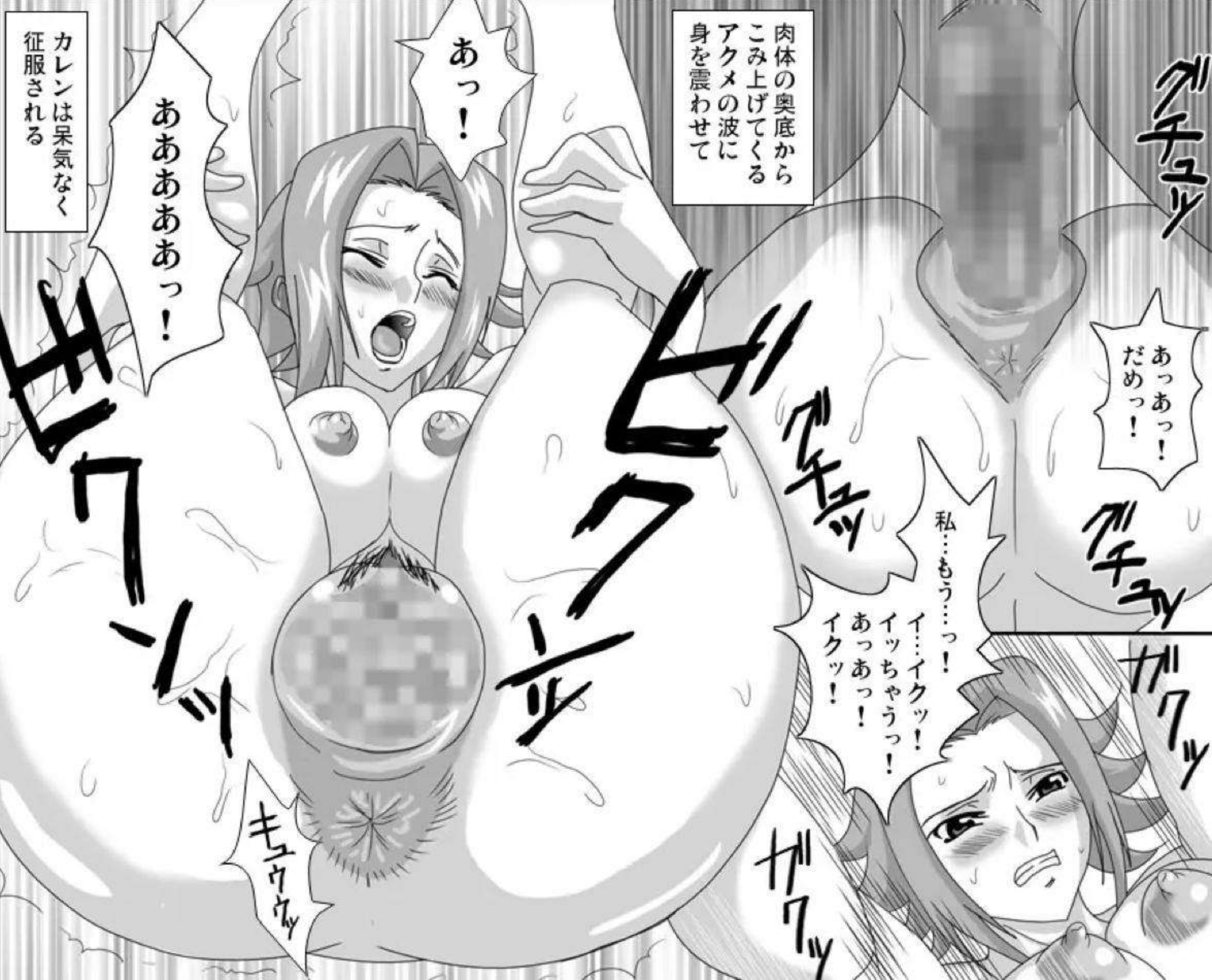
クキョッ

クキョッ





二つに折り曲げられた体を
太い肉茎が貫き
膣壁を掻き分けて
さらに深く潜り込んでいく



肉体の奥底から
こみ上げてくる
アクメの波に
身を震わせて

カレンは呆気なく
征服される



うんあっ！

ヌ
プ
プ
ッ

ヒ
ク
ク



ハア...

ヒク

ク
ク...

ハア...



グ
ク
ク

ヒク
ヒク

グ
ク
ク
ッ

パ
ン
ッ
ッ

パ
ン
ッ
ッ

パ
ン
ッ
ッ

さらに追い討ちをかけるように
オデュッセウスは
屈服したカレンの子宮を
後ろから突き崩す

あああああっ！

あ...っ！
あたるっ！
お...奥にっ！

ひい...あっ！
あたるうっ！

ふっ！

んっ！
くうっ！



はあん!

あっ!

あっ...

もう許して...

グイッ



やあっ!
あっあっ!

おまんこ
壊れちゃうっ!

激しくしないでっ!

屈辱と快楽を刻み込まれて
脱力したカレンを征服者は
当然の権利だと言わんばかりに
力づくでもぎ取った果実のように
無遠慮に食い荒らしていく

キツキツ



カレンは下から
激しく突き上げられながら

勃起した肉芽を
指で弄ばれ

あっ！

あっ！
だめっ！

今そこ触っちゃ
だめえっ！

ヒクヒク

あっ！

為す術も無く
二度目の絶頂へ押し上げられる

や...っあっ！
イクツツ！

クチュツ

クチュツ

またイクウツ！

ヒクヒク

ヒクヒク

たくましいピストン運動で
何度も絶頂を味あわされ
身も心も蕩けたカレンは
恋人同士と愛を確かめ合うように
オデュッセウスの体にしだれかかり

ん…っ

ん…っ

自分から舌を絡めて
唾液を交換しあう

ふうん…っ



ん…っ

ん…っ

クチャッ
クチャッ
クチャッ

ふうん…んっ

はあ…っ

チユッ
チユッ
チユッ





は…っあっ

んっ!

んっ!

うんっ!
ふ…っんっ!
んっんっんっ!



あっあっあっ

んっんっ

んっんっ

んっんっ

んっんっ

ふうんっ!

んっんっ

うんっ!



こんな…っあっ
私…こんな初めて…っ

んっんっ

んっんっ

んっんっ



す…っおっ
あっ!

は…っあっ!
あんっあっ!

んっんっ



あ……っや……っ!
腰が勝手に……っ

あ……っ

例え心で否定してもカレンの体は
快楽を与えてくれる逞しい男の精を求めて
浅ましく蠢き始め

はあ……あっ

あ……あ……あ……

クチュツツ

クチュツツ

はあん……っ

クチュツツ

クチュツツ

クチュツツ

クチュツツ



あ……!

モッ

クチュツツ

クチュツツ

排泄器官であるはずの
肛門への愛撫でも
感じてしまう体に
作り変えられていく

クチュツツ

そこは
だめ……っ!

あ……!

クチュツツ

クチュツツ

クチュツツ

クチュツツ

いよいよ射精の時間が近づき
オデュッセウスの腰の動きが
一段と激しさを増す…

膣内への射精の前兆を
感じ取ったカレンは
牝の本能に従い
より子宮に近い場所で
精液を受け止めようと
無意識のうちに
オデュッセウスの
背中に両腕を伸ばし
両足を腰に絡ませて
精が放たれるのを
待ち構える…



はっ…あっ!

はっ!

あっ!

あっ!





カッパッパッ

アッアッアッ

ワッ

ジュッ
ジュッ





ん？
どうした？

へっへっ



…たぶん
大丈夫だとは
思うが

…とまあ
こうなるかもしれないわけだ

ネトオ...



この男
やはり面白い...

絶対に許さんぞ
オデユツセウス！
じわじわと鬨り殺しに
してくれるわ！

ギョギョ
ツツツ



いや急に悪寒が…
風邪かなあ？

ブルブル

どうかされましたか
殿下？



Thank you for your reading.